

## 意見交換会報告書

開催日時	令和7年10月19日（日）開始：午後1時 終了：午後2時30分
開催場所	加賀野集会所
対象団体	加賀野地区（青年会役員、子供会保護者）
参加人数	8人
出席議員	米山立子、有川康二郎、池元 勝、山口俊哉、石地宜一、北嶋章光
役割分担	司会：山口俊哉、開会・閉会挨拶：北嶋章光

### 意見交換会テーマ「子どもを取り巻く環境と白山市の政策について」

#### （意見1）

松陽小学校コミュニティスクールの運営の現状を把握することが必要である。

#### （意見2）

他の地区から加賀野地区へ転居してきた世帯にとって、地域のつながりづくりが課題である。

#### （意見3）

共働きで働く家庭が多く、地区の集まりに来られない保護者もいるため、情報共有の仕組みが必要である。

#### （意見4）

コロナ禍前後で育児の方法や地域の関わり方が変化している。他の地区の問題や課題等の事例や取組を共有してほしい。

#### （意見5）

松陽小学校の校区内には児童館がなく、子供の居場所づくりが求められている。

#### （議員）

鶴来地区にも2つの児童館があるが、お住まいによっては遠方であり、かつ一定の学年以下の児童は一人で児童館に行ってはいけないという決まりがある。他の事例として、コミュニティセンターの開放状況やイベントの周知に力を入れ、地域の児童にコミュニティセンターに来てもらうという話も聞いている。

#### （意見6）

学童保育だけでなく、学童に通っていない児童が放課後や休日に過ごせる居場所を確保してほしい。

(意見 7)

コミュニティセンターを夏休み・冬休み等の長期休暇の時期に開放してほしい。

(議員)

鶴来地域のコミュニティセンターは小中学生に対して夏休み期間に開放していた。このように開かれた場所があるのはよいことだと思う。

(意見 8)

市のファミリーサポートセンターの制度は使いにくい。(理由：知らない人に子供を預けることへの抵抗感があり躊躇する、希望しても面談(事前打ち合わせ)等がありすぐに使えないなど)協力会員(子育てのお手伝いをしてくださる方)が日頃行っている研修内容や風景等を発信し、利用へのハードルを下げるように努めてはどうか。

(意見 9)

年間 200 日の見守り体制を現在試みており、注力している。

(意見 10)

学校の空き教室を活用した地域活動ができるようにしてほしい。新たな建物を建設しなくても学校の空き教室を活用し、地域活動や子供の居場所として利用できればよいのでは。ハード(建物)が負の財産とならないように、ソフトに力を入れて充実させてほしい。

(意見 11)

松陽小学校の周辺は公衆トイレ等が無いため、放課後、学校周辺で遊んでいる子供達にも気軽に学校のトイレを貸せる環境にしてほしい。

(意見 12)

コミュニティセンターの活動は公民館時代からの活動を引き継いでいる傾向にある。

(意見 13)

コミュニティセンター運営には区長会の協力や行政との連携が重要である。

(意見 14)

コミュニティセンターと区長会が分断しつつある。区長会のほうに市からの情報が入ってこない現状があるため、情報共有をしてほしい。

(議員)

必要な情報が区長会に入っていないということはよくない。きちんと情報が入ってくるよう対応する必要がある。

(意見 15)

コミュニティセンターやコミュニティスクールの体制を住民市民がわかりやすく理解できるように周知してほしい。

(意見16)

子育てに関する情報のみならず、市民に周知したい(すべき)情報については市ホームページやLINEへのPDF掲載、広報紙での文字情報だけでなく、情報発信を強化し動画での周知やInstagramなどSNSも活用してほしい。(意見交換会で話題となったコミュニティスクールの体制やコーディネーターの仕組み、コミュニティセンターの役割なども市民への周知が不足しているという話があったため)